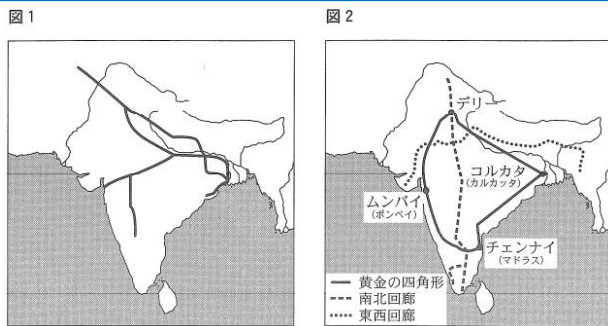


## インドの交通網と各都市の歴史的背景を照らし合わせて考察する問題

### 共通テスト 第3問 問3



問3 学生たちがまとめた次のメモ1・2の正誤について述べた文として最も適切なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 20

メモ1

図1の南部に延びる主要道をたどっていくと、マウリヤ朝の支配領域がインド亜大陸の南端にまで及んでいたことが分かる。

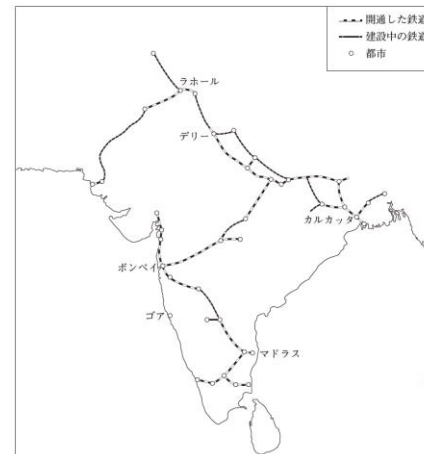
メモ2

図2に見られる「黄金の四角形」は、かつてのイギリス植民地の拠点として発展した沿岸の大都市をつないでいることが分かる。

- ① メモ1のみ正しい。
- ② メモ2のみ正しい。
- ③ 二つとも正しい。
- ④ 二つとも誤っている。

### 第1回ベネッセ・駿台マーク模試 第4問 問4

問4 下線部③に関連して、次の地図は1868年のインドの鉄道路線の様子を示したものである。地図から読み取れるインドにおける鉄道建設について述べた文として最も適切なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 25



- ① ムガル帝国が滅亡時に都をおいていた都市を中心に、放射状に鉄道建設が開始された。
- ② イギリスが17世紀に拠点をおいた3都市を結びつけるように鉄道建設が進められていた。
- ③ インド西北部への鉄道建設は、フランスのアフガニスタン進出に対抗するためと考えられる。
- ④ ポルトガルが16世紀に総督府をおいた都市にも、鉄道が敷設されている。

いずれも、インドにおける交通網を示した地図が用いられ、地図から読み取れる内容を判断する出題であった。「かつてのイギリス植民地の拠点として発展した沿岸部の大都市」や「イギリスが17世紀に拠点をおいた3都市」がどの都市をさすか想起したうえで、地図と照らし合わせて考察することが求められた。

## 近現代の日本の思想家の思想内容について問う問題

### 共通テスト 第2問 問7

問7 下線部㉔に関連して、平和を説いた近現代の思想家の説明として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 15

- ① 小日本主義を掲げた石橋湛山は、軍備の拡張や植民地の拡大を目指す日本のあり方を大日本主義として批判して、平和を守って経済的な発展を目指す方針を説いた。
- ② 丸山真男は、主体性を備えた近代的自我を日本人が明治維新とともに確立していたと論じ、二度の世界大戦を経験する中で、世界的な潮流に抗うことはできずに、国家がファシズムに陥ったと分析した。
- ③ 幸徳秋水は、自由民権運動の影響を受けて、戦争が起こる原因を、国民が戦争を望んで反対を唱えないことにあると述べて、政府ではなく国民一人一人に戦争の責任があると主張した。
- ④ 妊娠・出産期において女性は国の財政支援により保護されるべきだと主張した与謝野晶子は、戦地に赴いた弟の身を思って「君死にたまふことなかれ」と詠んだ。

### 第1回ベネッセ・駿台マーク模試 第2問 問8

問8 下線部㉕に関して、大日本帝国憲法施行以後の専制的な政治を変革し、民意に基づく議会政治の確立をめざした大正デモクラシーの運動についての記述として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 16

- ① 幸徳秋水は、はじめ人道主義的立場から資本主義の問題点としての貧困に焦点をあて、『貧乏物語』を著したが、後にマルクス主義の立場に転じた。
- ② 吉野作造は、立憲政治を確立し、「恩賜的民権」を「恢復的民権」に育て上げることが大切であると説いた。
- ③ 石橋湛山は、自由主義の立場から「小日本主義」を主張し、日本は領土や植民地を拡大しようとする「大日本主義」を放棄すべきであると説いた。
- ④ 与謝野晶子は、「元始、女性は実に太陽であった」と男性中心の社会のあり方を批判し、母性保護論争では母親に対する国家の福祉政策を求めた。

いずれも、近現代の日本の4人の思想家について問う出題で、石橋湛山の主張した「小日本主義」に関する理解が求められた。それぞれの思想家の立場を踏まえ、思想内容を整理しておさえおくことがポイントであった。